



横浜市

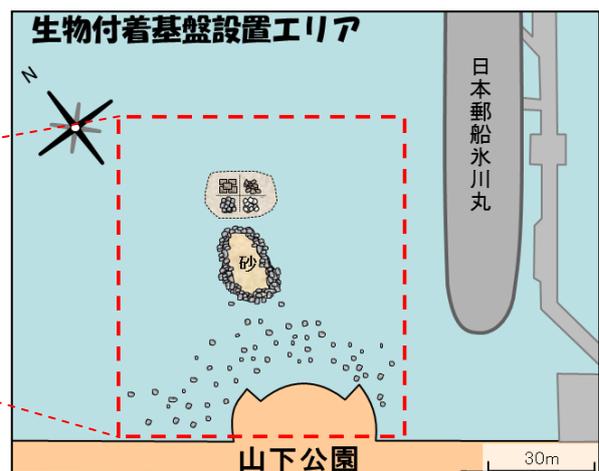


JFE スチール 株式会社

## 「きれいな海づくり」の推進に向けた共同研究を開始します

「きれいな海づくり」事業<sup>\*</sup>では、浅場を利用した海づくりを推進しています。横浜市と JFE スチール株式会社は、鉄鋼スラグを原料とする再生資材製品を用いた生物の生息環境改善と水質浄化の向上を検討する共同研究に関する協定を 9 月 11 日に締結しました。これに基づき、世界トライアスロンシリーズの会場でもある山下公園前海域で、10 月 16 日から資材を設置して共同研究を開始します。

- 共同研究名：「山下公園前海域における水質浄化能力の回復に向けた生物生息環境の改善手法」に関する共同研究
- 研究内容：山下公園前海域において、生物付着基盤や底質改善の効果が期待される鉄鋼スラグを原料とする再生資材を沿岸域に配置し、浅場を造成します。その後、定期的なモニタリング調査を行い、海域が本来持っている生物による水質浄化能力の回復に向けた生物生息環境の改善手法を検討します。  
(詳細は裏面参照)
- 共同研究者：横浜市環境創造局環境科学研究所 JFE スチール株式会社
- 研究期間：平成 25 年 10 月 16 日～平成 28 年 3 月 31 日



※「きれいな海づくり」事業：横浜市中期 4 か年計画に位置付けられており、浅い海域を活用した水中生物の生息環境の改善や水質浄化の取組、また海岸の保全や美化に向けた取組などについて市民団体などと連携して行うもの。

### お問い合わせ先

環境創造局環境科学研究所

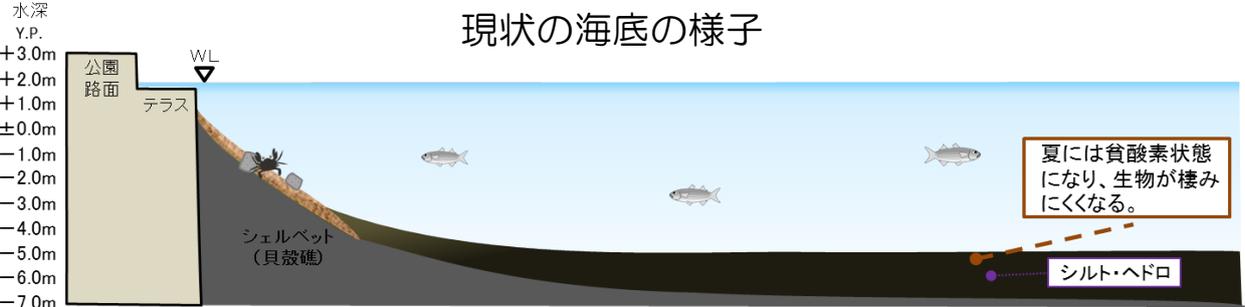
担当課長

土田 知彦

Tel 045-752-2605

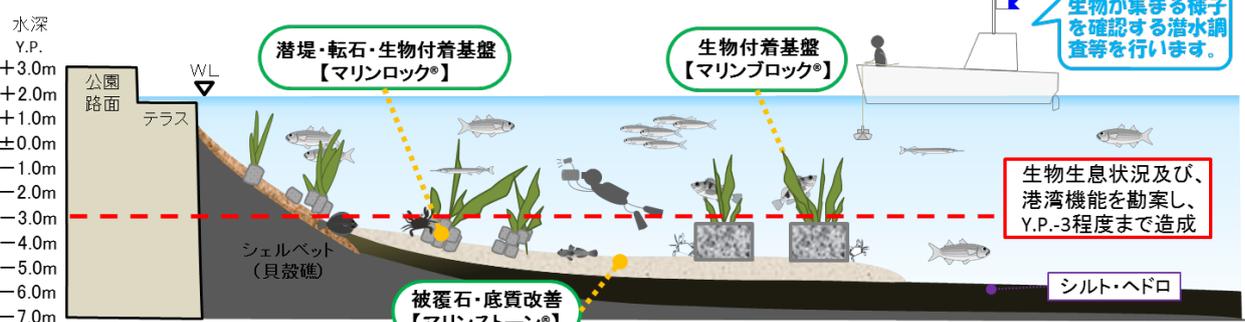
【参考】

山下公園前海域は護岸から離れると急に深くなり、夏季において水深-3.0mより深い場所では溶存酸素量が少なくなっていることから、生物生息環境としては厳しいことが分かっています。そこで、共同研究では水深-5.0mより深い場所に鉄鋼スラグ再生資材等を使用し、水深-3.0m程度の浅場造成を行い、生物付着基盤（生き物の住処・逃げ場など）を配置し生物が棲みやすい環境を創造します。



※：貧酸素状態 海域における生物の生息環境に影響を及ぼす溶存酸素量は 2.9mg/L 以下になるとほとんどの種で影響がみられる（水産用水基準）とされている。

共同研究開始後のイメージ



※：Y.P.（横浜港工事基準面＝基本水準面）

鉄鋼スラグ再生資材とは

鉄鋼スラグを炭酸固化、水和固化または粒度調整をした製品です。

製品名	 【マリプロック®】 鉄鋼スラグの炭酸固化体	 【マリロック®】 鉄鋼スラグの水和固化体	 【マリストーン®】 鉄鋼スラグの粒度等を調整
形状	ブロック状	岩石状	砂利状
寸法	1m×1m×0.5m	φ100mm～	φ30mm～80mm
比重	2.0～2.4	2.4～2.6	2.0～
期待される効果	生物付着基盤、藻場形成、貝類等着生		被覆石、底質改善
	生態系の健全化（生物多様性の向上）⇒水質浄化、生物による炭素固定		
施工実績	（株）横浜八景島他	（株）横浜八景島他	広島県（福山内港）他